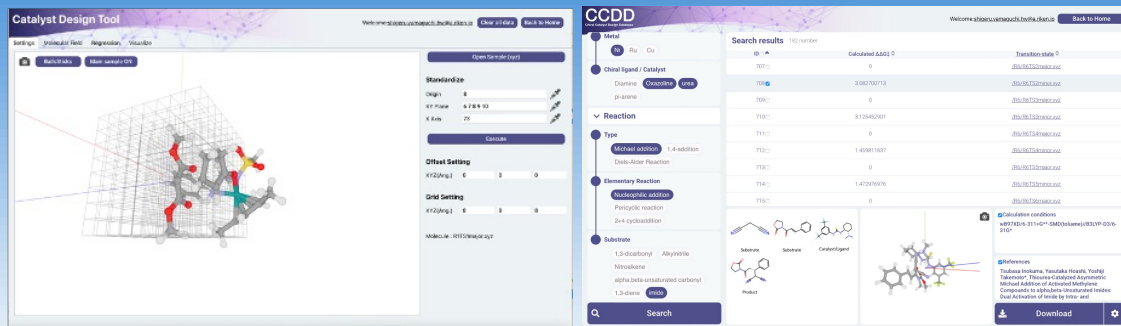


# 統合触媒科学研究会

2026 3/16 (月) 13:00-17:05 (懇親会 17:30~)

クロス・ウェーブ船橋 (12:30開場)



機械学習の重要性が決定的となった現在、有機合成分野はデータ基盤の構築という新たな課題に直面しています。本研究会では、データ駆動型触媒設計システム (<https://mcds.riken.jp>) を起点に、分子触媒データの創出・統合・利活用について議論します。またバイオ・マテリアルズインフォマティクスの専門家をお招きし、幅広い視点から意見交換を行います。

参加費：無料 (定員になり次第、参加登録締め切り)

参加登録：データ駆動型触媒設計システム (<https://mcds.riken.jp>) 登録者に案内送付

## プログラム

13:00 開会挨拶・触媒設計システムチュートリアル

### 招待講演

13:25 夏目やよい 医薬基盤・健康・栄養研究所 AI健康・医薬研究センター

データ × 機械学習 × 科学：創薬研究に見る”発見の効率化”

14:15 五十嵐康彦 筑波大学

触媒科学のためのマテリアルズ・インフォマティクス

15:05 休憩

### 講演

15:20 山口滋 理化学研究所

データ駆動型触媒設計システムの課題と改良

15:45 田中亮 広島大学

4族金属錯体の知見を最大限に利用したデータ駆動型重合触媒設計

16:10 金本和也 東京科学大学

アミノ酸データからペプチドへ導く精密触媒設計

16:35 南保正和 名古屋大学

不斉シアノアルキル化反応の開発とデータ駆動型触媒設計

17:00 閉会挨拶